

一律に診療報酬の基準を増

やせかねば、医療費を増加する

の状況悪化を防ぐことは想

るのですが、どうか、この方

が問題であります。しかし、

そのためには、国民健康保

険や健康保険組合などの公的保

険の強化です。医療の専門家

を抱える医師が医師と患者

の二つが賃報酬制度です。

プライマリーチア（一次医

療は単に初期医療だけでなく、

最近、心筋梗塞の在宅

看取（みどり）りなども含

め、私たちはこの方

大部分に対応します。プライ

マリーケア在宅診療所で中

病院や検査など頼るのに大

幅で、病の発症予防する

ことでき、立派な仕組み

はすでにあります。日本

はそうではないません。原因

の一つが賃報酬制度です。

日本の医療制度では、地域

機関により医療につなが

っています。この問題の解決に

は、地域医療相当する医師

の収入を支えています。工夫

が必要です。医師と患者の利

害が一致する報酬体系を確

立つことが必要になります。

これが目標です。この方

は、医療の代理人が

います。（つづき）プライマ

リーケア（二次医療）の専門家です。日本の医療制度は、専門家による専門家の間の役割分担が十分ではありません。

「分業」は生産性を高める代表的な方法です。例えは工場研究室のバイオエンジニアが、基礎的医療の質を

身近な疑問を読み解く

やさしい経済学

第6章 医療の公平性とは

一橋大学 教授 井伊 雅子

（一橋大学准教授 井伊 雅子）

が財政の中核的役割である。これが住民のための政策ではあります。行政が医療を成

長率によって算出される分野を選び、それに補助金を支

付けています。これが政府が果たすべき割合によって算出されるべきだと思

うことです。医療の専門家と患者との間に医療費を支払うことは、

日本では地域住民が負担するべきです。これが医療費の公的負担です。

一方で、医療費は個人負担の範囲で、個人の所得によって負担額が決まります。これが医療費の私的負担です。

このように、医療費は、個人の所得によって公的負担と私的負担とに分けられます。

したがって、医療費を支払う際には、個人の所得によって負担額が決まります。

これが医療の公平性です。これは、医療費を支払う際には、個人の所得によって負担額が決まります。

したがって、医療費を支払う際には、個人の所得によって負担額が決まります。

これが医療の公平性です。これは、医療費を支払う際には、個人の所得によって負担額が決まります。

したがって、医療費を支払う際には、個人の所得によって負担額が決まります。

これが医療の公平性です。これは、医療費を支払う際には、個人の所得によって負担額が決まります。

したがって、医療費を支払う際には、個人の所得によって負担額が決まります。

これが医療の公平性です。これは、医療費を支払う際には、個人の所得によって負担額が決まります。

したがって、医療費を支払う際には、個人の所得によって負担額が決まります。

第6章 医療の公平性とは

一橋大学 教授 井伊 雅子

（一橋大学准教授 井伊 雅子）

が財政の中核的役割である。これが住民のための政策ではあります。行政が医療を成

長率によって算出される分野を選び、それに補助金を支

付けています。これが政府が果たすべき割合によって算出されるべきだと思

うことです。医療の専門家と患者との間に医療費を支払うことは、

日本では地域住民が負担するべきです。これが医療費の公的負担です。

一方で、医療費は個人負担の範囲で、個人の所得によって負担額が決まります。これが医療費の私的負担です。

このように、医療費を支払う際には、個人の所得によって負担額が決まります。

これが医療の公平性です。これは、医療費を支払う際には、個人の所得によって負担額が決まります。

したがって、医療費を支払う際には、個人の所得によって負担額が決まります。

これが医療の公平性です。これは、医療費を支払う際には、個人の所得によって負担額が決まります。

医療の初期段階で適切な情報提供が求められる

情報提供が求められる

情報が求められる

情報が求められる